

安全・安心の一翼を担う

四日市市指定上下水道工事業者協組

四日市市指定上下水道工事業者協組(藤原和彦理事長)は22日、四日市市内で第55回通常総会を開いた。



藤原理事長「写真」は「労働者不足が建設業を

直撃している。加えて、働き方改革への対応が他産業より遅れている。しっかりと考え、工夫する必要がある」と危機感を示しつつ、組合の今後の展開として「市民の安全・安心の一翼を担う組合。いつ起こるか分からない災害にもスムーズに活動できるように万全の体制を取り、市と連携していく」とあいさつした。

会では事業計画や収支予算などを可決した。2019年度事業計画は上下水道工事設備と材料などの共同購買、工事の共同受注・施工、事業に関する研究、技術の改善向上などの教育・情報提供などを挙げる。